

使徒

◆ **ペトロ**—シモンとしても知られ、「岩」を意味するケファという名に改名される。ユダヤ人の間で伝道活動を行った。ペトロの手紙ⅠおよびⅡの著者で、マルコによる福音書の執筆にも手を貸したという説もある。

◆ **アンデレ**—ペトロの兄弟。イエスにペトロを紹介した(ヨハネ 1:40-42)。ペトロ同様、ベツサイダ出身の漁師であった。

◆ **ヤコブ**—ヨハネの兄弟。2人はゼベタイとサロメの息子で、ベツサイダで父と働いていた。「大ヤコブ」とも呼ばれ、エルサレムとユダヤで宣教した。44年にヘロデ王に斬首され、使徒の中から出た最初の殉教者となった。

◆ **ヨハネ**—ヤコブの兄弟。2人は彼らの父と同様、漁師であった(マルコ 1:19、20)。イエスはこの2人の兄弟を「雷の子ら」と呼ばれた(マルコ 3:17)。小アジア、特にエフェソの各教会で宣教をしたが、95年にパトモス島に幽閉され、そこでヨハネの黙示録を記した。ヨハネによる福音書、ヨハネの手紙Ⅰ、Ⅱ、およびⅢの著者でもある。

◆ **ピリポ**—ベツサイダ出身。ナタナエルにイエスのことを伝えた人物である(ヨハネ 1:44-46)。

◆ **バルトロマイ**—ヨハネの福音書に登場するナタナエルであるとされる(ヨハネ 1:44-46)。ガリラヤのカナ出身であった。

◆ **トマス**—ディディモ(「双子」)とも呼ばれ(ヨハネ 11:16; 20:24; 21:2)、出身はガリラヤであった。シリアのクリスチャンは彼がその地の教会の創始者だとしている。ペルシャとインドの教会も建設したという説もある。

使徒はご自身の命と復活に関して個人的な証言がお出来になるイエスによって任命された、イエスの特別な伝達者であった。イスカリオテのユダの後任となる新しい使徒は、イエスの地上での宣教の間中ずっとイエスやイエスに従う者と共にいた者でなければならなかった(使徒 1:21)。後に、イエスはパウロの前に姿を現され、異邦人のための使徒になる資格をお与えになった(Ⅰコリント 15:8参照)。ここに記載された情報の一部はフランク・L・コックス著「The Glorious Company of the Apostles」 The Minister's Monthly (1960年2月): 254.から抜粋したものである。

使徒(続き)

- ◆ **マタイ**—アルファイの子。レビとしても知られる（マタイ 9:9；マルコ 2:14）。カペナウム出身のローマ政府の取税人であった。
- ◆ **ヤコブ**—「子ヤコブ」とも呼ばれ、アルパヨとマリヤの息子である（マタイ 10:3；27:56）。（ヤコブとマタイが兄弟であった可能性もあるが、定かではない。）ガリラヤ出身でヤコブの手紙の作者である。
- ◆ **タダイ**—ヤコブの息子。この人の名前もユダであった（マタイ 10:3；ルカ 6:16）。ガリラヤの人である。
- ◆ **熱心党のシモン**—アラム語から字訳された「熱心党 (zealot)」を意味する別の語、熱心党 (the Cananaean) のシモンとしても知られる。彼はガリラヤの出身であった。
- ◆ **イスカリオテのユダ**—「イスカリオテ」は彼がユダヤの村、カリオテ出身だったことを示唆するものと考えられている。イエスを裏切り、自殺をはかる。
- ◆ **マッテヤ**—イスカリオテのユダの死後、代わりの者としてくじで選ばれた（使徒 1:26）。使徒の働き 1 章 22 節によれば、彼は「ヨハネのバプテスマから始まって、天に上げられた日までの間」イエスと使徒たちと共にいた。
- ◆ **パウロ**—教会の迫害者であり、後にパウロとなったサウロは神の御心に召されて異邦人のための特別な使徒となった（ローマ 11:13；I コリント 1:1；9:1；15:9；II コリント 12:12；ガラテヤ 1:1；I テモテ 2:7）。ダマスコへの旅の途上でイエスに出会う。新約聖書の膨大な量を書いている。